

## 第 56 回 日本脂質生化学会プログラム

### 第 1 日午前 第 1 会場

#### シンポジウム 1 「スフィンゴ糖脂質研究とヘルスサイエンスー機能・動態・認識と応答ー」

S1-1～S1-4 9:30-11:30

座長 梅崎 良則(ヤクルト中研)、臼杵 靖剛(北海道大)

S1-1 腸内菌定着における宿主応答ーその作用経路の推定ー

9:30 ヤクルト本社中央研究所

P 6 ○梅崎 良則

S1-2 糖脂質エピトープの抗体認識の問題点とコレラトキシンエピトープ認識ペプチド

10:00 北海道大学大学院先端生命科学研究院

P 7 ○臼杵 靖剛

S1-3 スフィンゴ糖脂質のセラミド骨格の構造多様性が担う生物機能

10:30 川崎医科大学医学部

P 8 ○松田 純子

S1-4 セラミド代謝産物と自然免疫

11:00 Dept of Dermatology, Univ of California San Francisco

P 9 ○内田 良一

## 第 1 日午前 第 2 会場

### 一般講演

2-01~2-04

9:30-10:35

座長 小林 俊秀(理研)、杉本 博之(獨協医大)

2-01 PLC $\beta$ 1 の C 末端は脂質膜の結合・変形活性をもつ

9:30 <sup>1</sup>理研、<sup>2</sup>杏林大学、<sup>3</sup>早稲田大・先進理工学

P 38 ○稲葉岳彦<sup>1</sup>、岸本拓磨<sup>1,2</sup>、田島拓也<sup>1,3</sup>、牧野麻美<sup>1</sup>、阿部充宏<sup>1</sup>、村手源英<sup>1</sup>、  
石塚 玲子<sup>1</sup>、池田 康夫<sup>3</sup>、武岡 真司<sup>3</sup>、小林 俊秀<sup>1</sup>

2-02 I-BARドメインの膜変形活性による腎刷子縁の形成メカニズム

9:45 <sup>1</sup>神戸大・自然環・バイオシグナル、<sup>2</sup>神戸大・院医・質量分析総合センター

P 40 ○栗栖 修作<sup>1</sup>、伊藤 俊樹<sup>1</sup>、竹縄 忠臣<sup>2</sup>

2-03 F-BAR タンパク質による細胞膜の張力を介した極性形成機構

10:00 神戸大・バイオシグナル・生体膜機能

P 42 ○辻田 和也、伊藤 俊樹

2-04 細胞質型チロシンキナーゼ Fer と生体膜との相互作用の解析

10:20 神戸大・バイオシグナル・生体膜機能

P 44 ○伊藤 俊樹、山本 光、辻田 和也

### 一般講演

2-05~2-07

10:35-11:20

座長 伊藤 俊樹(神戸大)、梅田 真郷(京都大)

2-05 ホスファチジルエタノールアミン、コレステロールの合成制御における  
オキシステロール代謝産物と新規転写因子の役割

10:35 <sup>1</sup>獨協医大・生化、<sup>2</sup>群大・医・保健

P 46 ○安戸 博美<sup>1</sup>、青山 智英子<sup>1</sup>、保坂 公平<sup>2</sup>、杉本 博之<sup>1</sup>

2-06 ジメチルステロール蓄積のリサイクリング経路への影響の解析

10:50 <sup>1</sup>理研、<sup>2</sup>INSERM

P 48 ○富重 斉生<sup>1</sup>、小林 俊秀<sup>1,2</sup>

- 2-07 多価不飽和脂肪酸含有リン脂質合成に関わる新規リゾホスファチジン酸アシル転移酵素 (LPAAT4)の同定
- 11:05 <sup>1</sup>東大・院・医、<sup>2</sup>国医セ・脂質シ
- P 51 ○衛藤 樹<sup>1,2</sup>、進藤 英雄<sup>2</sup>、清水 孝雄<sup>1,2</sup>

### 第 1 日午前 第 3 会場

一般講演 3-01～3-04 9:30-10:35  
座長 坂根 郁夫(千葉大)、中村 由和(東京薬大)

- 3-01 PLCδ1 と PLCδ3 は心筋細胞の生存に関与し正常な心機能維持に必須である  
9:30 東薬大・生命科学・ゲノム病態医科学  
P 82 ○中村 由和、金丸 佳織、深見 希代子
- 3-02 クラス II α 型 PI3K-C2α は ALK5 内在化及び足場タンパク SARA のエンドソームへの  
動員を制御し TGFβ1-Smad2/3 を介した血管新生を調節する  
9:45 <sup>1</sup>金沢大学・医学系・血管分子生理学、<sup>2</sup>石川県立看護大・看護・健康科学  
P 84 ○安藝 翔<sup>1</sup>、吉岡 和晃<sup>1</sup>、岡本 安雄<sup>1</sup>、多久和 典子<sup>1,2</sup>、多久和 陽<sup>1</sup>
- 3-03 グルコース刺激時におけるジアシルグリセロールキナーゼ δ の  
パルミチン酸含有ジアシルグリセロール分子種の選択的代謝  
10:05 千葉大・院・理・化  
P 86 ○堺 弘道、坂根 郁夫
- 3-04 好中球における活性酸素産生および酵素放出の分子メカニズム解析：  
ホスホリパーゼ D は必要か？  
10:20 筑波大・院・人間総合科学・生理化学  
P 89 ○本宮 綱記、佐藤 隆信、船越 祐司、金保 安則

一般講演

3-05～3-07 10:35-11:25

座長 今井 浩孝(北里大)、岡崎 俊朗(金沢医科大)

3-05 新規ビタミン E 合成酵素の同定とその役割の解明

10:35 <sup>1</sup>東北大院農, <sup>2</sup>東北農研セ, <sup>3</sup>中央農研セ, <sup>4</sup>富山農総技セ,  
<sup>5</sup>東北大未来科学技術共同研究セ

P 92 ○阿部 伎<sup>1</sup>, 木村 映一<sup>2</sup>, 木村 俊之<sup>3</sup>, 村田 和優<sup>4</sup>, 吉田 泰二<sup>2</sup>, 仲川 清隆<sup>1</sup>,  
宮澤 陽夫<sup>1,5</sup>

3-06 化合物ライブラリーを用いた脂質酸化依存的新規細胞死シグナル伝達経路の解析

10:50 <sup>1</sup>北里大・薬・衛生化学、<sup>2</sup>東大・院薬・衛生化学

P 94 ○今井 浩孝<sup>1</sup>、原田 晋作<sup>1</sup>、松岡 正城<sup>1</sup>、小川 丈博<sup>1</sup>、新井 洋由<sup>2</sup>

3-07 Ceramide-induced autophagic cell death through inhibition of sphingomyelin synthase  
and increase sphingomyelinase

11:10 <sup>1</sup>Department of Hematology and Immunology, Kanazawa Medical University,

<sup>2</sup>Department of Medical Oncology, Kanazawa Medical University

P 96 Tamotsu Tsukahara<sup>1</sup>, OHan Jia<sup>2</sup>, Hideo Ogiso<sup>1</sup>, Yoshiharu Motoo<sup>2</sup>  
and Toshiro Okazaki<sup>1</sup>

## 第 1 日午後 第 1 会場

### シンポジウム2 「植物脂質研究の新展開」

S2-1～S2-6 13:30-16:00

座長 吉田 元信(近畿大)、太田 啓之(東工大)

S2-1 油糧作物における不飽和脂肪酸の合成調節機構

13:30 近畿大・農

P 12 ○吉田 元信、岸川 彰宏、中司 寛基、種坂 英次

S2-2 バイオ燃料植物ジャトロファの種子における脂質生合成制御

14:00 鳥取大学農学部

P 13 ○明石 欣也

S2-3 LipidBank における糖脂質分類: 植物編

14:30 <sup>1</sup>遺伝研、<sup>2</sup>東大院・医・リポミクス、<sup>3</sup>滋賀大・教育・理科教育、<sup>4</sup>北里大・一般教育・生物、  
<sup>5</sup>東京医科歯科大・研究支援セ、<sup>6</sup>群大院・医

P 14 ○有田 正規<sup>1</sup>、八杉 悦子<sup>2</sup>、糸乗 前<sup>3</sup>、中村 和生<sup>4</sup>、笠間 健嗣<sup>5</sup>、和泉 孝志<sup>6</sup>

S2-4 植物科学分野におけるスフィンゴ脂質研究の現状

15:00 <sup>1</sup>甲南大院・自然科学・生物、<sup>2</sup>統合ニューロバイオ研

P 15 ○今井 博之<sup>1,2</sup>

S2-5 グリセロ脂質上で進行する植物オキシリピン代謝経路

15:30 山口大学院・医学系研究科農学系

P 16 ○松井 健二、中島 杏菜、野村 美沙希、望月 智史、肥塚 崇男

S2-6 葉緑体の脂質合成系 ―その進化と油脂生産との関わり―

16:00 <sup>1</sup>東工大・バイオセンター、<sup>2</sup>JST・CREST、<sup>3</sup>東工大・ELSI

P 17 ○太田 啓之<sup>1,2,3</sup>、下嶋 美恵<sup>1</sup>、岩井 雅子<sup>1,2</sup>

特別講演      SS      16:30-17:30

座長 塩崎 均(近畿大学 学長)

SS      「免疫性神経疾患と糖脂質に対する自己抗体」

16:30   近畿大学医学部神経内科主任教授

P 2      ○楠 進

17:30-17:35      休憩

17:35-18:00      総会

## 第 1 日午後 第 2 会場

一般講演 2-08～2-11 13:30-14:30

座長 村上 誠(医学研)、山下 純(帝京大)

2-08 卵巣摘出ラットの脂質代謝変動に対する共役リノール酸とみかん抽出物の投与効果

13:30 <sup>1</sup> 明治大・農・農化、<sup>2</sup> ユニチカ

P 54 小栗 幹也<sup>1</sup>、小山 庸子<sup>1</sup>、○長田 恭一<sup>1</sup>、向井 克之<sup>2</sup>

2-09 スサビノリ由来成分の食事脂質吸収に及ぼす影響

13:45 <sup>1</sup> 熊大・環共・食、<sup>2</sup> (特非) 熊本県産業促進協会、<sup>3</sup> (特非) 植物資源の力

P 58 ○友寄 博子<sup>1</sup>、大田黒 香織<sup>1</sup>、近藤 昌次<sup>2</sup>、浅川 牧夫<sup>3</sup>

2-10 皮膚バリア機能における新規脂質代謝酵素 PNPLA1 の役割

14:00 <sup>1</sup> 都医学研・脂質代謝、<sup>2</sup> JST・CREST

P 61 ○安城 樹<sup>1</sup>、平林 哲也<sup>1</sup>、山本 圭<sup>1</sup>、村上 誠<sup>1,2</sup>

2-11 炎症性腸疾患における分泌性ホスホリパーゼ A<sub>2</sub> の機能解析

14:15 <sup>1</sup> 都医学研・脂質代謝、<sup>2</sup> 昭和大・院・臨床薬学、<sup>3</sup> JST・CREST

P 63 ○村瀬 礼美<sup>1,2</sup>、武富 芳隆<sup>1</sup>、山本 圭<sup>1</sup>、山元 俊憲<sup>2</sup>、村上 誠<sup>1,3</sup>

14:30-14:40 休憩

一般講演 2-12～2-16 14:40-16:10

座長 北 芳博(東京大)、横山 和明(帝京大)

2-12 モノアシルグリセロールリパーゼ欠損は高脂肪食負荷による肥満を抑制する

14:40 <sup>1</sup> 東大・院医・リポミクス、<sup>2</sup> 新潟大・脳研・細胞神経生物学、<sup>3</sup> 東大・院医・神経生理学、  
<sup>4</sup> 国際医療センター・脂質シグナリング

P 66 ○吉田 憲司<sup>1,4</sup>、北 芳博<sup>1</sup>、徳岡 涼美<sup>1</sup>、崎村 建司<sup>2</sup>、狩野 方伸<sup>3</sup>、清水 孝雄<sup>1,4</sup>

- 2-13 胎児プログラミングモデルにおける肥満・メタボリックシンドローム発症と  
生体内脂質過酸化  
15:00 <sup>1</sup> 東北大院・農・機能分子解析学、<sup>2</sup> 東北大・未来科学技術共同研究センター  
P 69 ○伊藤 隼哉<sup>1</sup>、加藤 俊治<sup>1</sup>、木村 ふみ子<sup>1</sup>、仲川 清隆<sup>1</sup>、宮澤 陽夫<sup>1,2</sup>
- 2-14 大豆由来成分による脂質代謝改善効果と PPAR $\alpha$  活性化  
15:15 奈良女子大・食物栄養  
P 71 ○中田 理恵子、松下 佳奈恵、本郷 翔子、伊藤 有里加、森本 育美、滝澤 祥恵、  
井上 裕康
- 2-15 メタボリックシンドローム治療を目指した脂肪細胞におけるレジスチン生理作用の解明  
15:30 <sup>1</sup> 滋賀医大、<sup>2</sup> University of Utah School of Medicine、<sup>3</sup> 京都薬大院、<sup>4</sup> 北大院・薬  
P 74 ○池田 義人<sup>1</sup>、土谷 博之<sup>2</sup>、濱 進<sup>3</sup>、梶本 和昭<sup>4</sup>、小暮 健太郎<sup>3</sup>
- 2-16 環状ホスファチジン酸は多発性硬化症モデルマウスの神経脱髄と運動障害を改善する  
15:50 <sup>1</sup> 埼玉医大・医・薬理、<sup>2</sup> お茶大院・ヒューマンウェルフェアサイエンス研究教育寄附、  
<sup>3</sup> 埼玉医大・医・教養教育生物学  
P 77 ○山本 梓司<sup>1</sup>、後藤 真里<sup>2</sup>、川村 勇樹<sup>3</sup>、岩佐 健介<sup>1</sup>、丸山 敬<sup>1</sup>、室伏 きみ子<sup>2</sup>、  
吉川 圭介<sup>1</sup>
- 16:10 終了



## 第 1 日午後 第 3 会場

### 一般講演

3-08～3-11

13:30-14:40

座長 京ヶ島 守(日本薬大)、鈴木 明身(東海大)

3-08 酸素濃度変化が大腸癌細胞株 Caco2 のセラミド・スフィンゴミエリン・糖脂質分子種へ与える影響

13:30 <sup>1</sup>日本薬大・薬・生命分子薬学、<sup>2</sup>名大・院・医・保健・病態解析、<sup>3</sup>(株)島津製作所  
<sup>4</sup>愛知医大・先端医学 医療研究拠点

P 102 ○京ヶ島 守<sup>1</sup>、田中 広治<sup>2</sup>、山田 真希<sup>3</sup>、小泉 恵子<sup>2</sup>、村手 隆<sup>2</sup>、神奈木 玲児<sup>4</sup>

3-09 アルツハイマー病患者海馬におけるガングリオシド分子種イメージング解析

13:45 <sup>1</sup>大塚製薬株式会社 徳島研究所、<sup>2</sup>浜松医科大学、解剖学講座 細胞生物学分野、  
<sup>3</sup>Brain Bank Consultants. The Netherlands. <sup>4</sup>新潟薬科大学 健康・自立総合研究機構

P 104 酒巻 稚子<sup>1</sup>、早坂 孝宏<sup>2</sup>、瀬藤 光利<sup>2</sup>、Rivka Ravid<sup>3</sup>、○瀧 孝雄<sup>1,4</sup>

3-10 スフィンゴ糖脂質セラミド構造の LC-IT-MS による解析

14:05 <sup>1</sup>東海大学糖鎖科学研究所、<sup>2</sup>島津製作所

P 107 ○鈴木 明身<sup>1</sup>、佐野 邦広<sup>1</sup>、藤分 秀司<sup>2</sup>、梅村 佳克<sup>2</sup>

3-11 酸性グルコシダーゼ GBA1 の新機能

“コレステロールへのグルコース転移活性”の発見

14:20 <sup>1</sup>理化学研究所・脳科学総合研究センター、<sup>2</sup>お茶大院・ライフサイエンス、  
<sup>3</sup>東京理科大・薬、<sup>4</sup>お茶大・アカデミック・プロダクション

P 110 ○秋山 央子<sup>1,2</sup>、中嶋 和紀<sup>1</sup>、小林 進<sup>3</sup>、室伏 きみ子<sup>2,4</sup>、平林 義雄<sup>1</sup>

14:40-14:50

休憩

一般講演

3-12～3-16

14:50-16:05

座長 平林 義雄(理研)、竹松 弘(京都大)

3-12 両性イオン型(ZIC)-HILIC-ESI-MS/MS による脳グルコース化脂質の定量解析

14:50 理化学研究所・脳科学総合研究センター

P 113 ○中嶋 和紀、秋山 央子、田中 香織、平林 義雄

3-13 細胞内エネルギーセンサーAMPK によるグルコシルセラミド合成量制御機構

15:05 理研・BSI・神経膜機能

P 115 ○石橋 洋平、平林 義雄

3-14 スフィンゴ糖脂質サイコシンによって誘導される多倍体化は、  
細胞に発現するスフィンゴ糖脂質により正に、スフィンゴミエリンにより負に調節される

15:20 <sup>1</sup>京都大学大学院・医学研究科、<sup>2</sup>京都大学大学院・生命科学研究科

P 117 ○渡邊 寛<sup>1</sup>、岡原 京平<sup>2</sup>、小堤 保則<sup>2</sup>、岡 昌吾<sup>1</sup>、竹松 弘<sup>1</sup>

3-15 緑藻由来シフォナキサンチンはスフィンゴミエリンの蓄積を介して  
マスト細胞の脱顆粒反応を抑制する

15:35 <sup>1</sup>京大院農、<sup>2</sup>四条畷学園大

P 121 ○真鍋 祐樹<sup>1</sup>、平田 孝<sup>1,2</sup>、菅原 達也<sup>1</sup>

3-16 ヒトアネキシン A4 とアネキシン A5 の抗凝固活性の発現機構

15:50 お茶大・院・理学専攻

P 123 ○倉浪 佑実子、高屋 祥子、角岡 幸、相川 京子

16:05 終了

## 第 2 日午前 第 1 会場

### シンポジウム3 「脂質メディエーター研究の現状と未来」

S3-1～S3-5 9:30-12:00

座長 植田 弘師(長崎大)、福嶋 伸之(近畿大)

S3-1 脂肪酸によるがん細胞成長の調節

9:30 近畿大学理工学部

P 20 ○福嶋 伸之

S3-2 オメガ3系脂肪酸と炎症性疾患の制御

10:00 <sup>1</sup> 理化学研究所・統合生命医科学研究センター、<sup>2</sup>JST さきがけ

P 21 ○有田 誠 <sup>1,2</sup>

S3-3 皮膚創傷治癒における 12-HHT 受容体 BLT2 の役割

10:30 順天堂大学大学院医学研究科・生化学第一講座

P 22 ○横溝 岳彦

S3-4 LPA<sub>3</sub>を介する迷走神経機能の解明

11:00 東北大学大学院薬学研究科・分子細胞生化学分野

P 23 ○可野 邦行、青木 淳賢

S3-5 慢性疼痛病態時のリゾホスファチジン酸生合成のフィードフォワード制御

11:30 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科・創薬薬理学研究室

P 24 ○永井 潤、松下 洋輔、植田 弘師

## 第 2 日午前 第 2 会場

### 一般講演

2-17～2-20

9:30-10:40

座長 沖野 望(九州大)、北谷 和之(東北大)

2-17 ラビリンチュラ類の油滴形成とトリアシルグリセロールの代謝機構

9:30 <sup>1</sup>九大院・生資環・生命機能、<sup>2</sup>九大院・理・生物、<sup>3</sup>九大・バイオアーク

P 154 ○崎山 亮<sup>1</sup>、関根 聡美<sup>1</sup>、安部 英理子<sup>1</sup>、野村 和子<sup>2</sup>、野村 一也<sup>2</sup>、沖野 望<sup>1</sup>、  
伊東 信<sup>1,3</sup>

2-18 アシルセラミド合成に関与する超長鎖脂肪酸特異的 $\omega$ -水酸化酵素 CYP4F22 の同定

9:50 北大・院薬・生化学

P 157 ○大野 祐介、大國 礼、神山 望、中路 翔太、木原 章雄

2-19 CERT-VAP 間の相互作用調節を介したセラミド輸送の制御

10:10 国立感染研・細胞化学部

P 161 ○熊谷 圭悟、花田 賢太郎

2-20 セラミドによる細胞運動調節：セラミドリポソームの抗播種転移薬としての可能性

10:25 <sup>1</sup>東北大学東北メディカル・メガバンク機構、<sup>2</sup>東北大学大学院医学系研究科産科婦人科

P 165 ○北谷 和之<sup>1,2</sup>、豊島 将文<sup>2</sup>、臼井 利典<sup>1</sup>、重田 昌吾<sup>2</sup>、石橋 ますみ<sup>2</sup>、永瀬 智<sup>2</sup>、  
八重樫 伸生<sup>1,2</sup>

### 一般講演

2-21～2-23

10:40-11:25

座長 花田 賢太郎(感染研)、田口 友彦(東京大)

2-21 Sphingomyelin synthase I はリサイクリングエンドソームのスフィンゴミエリン量を規定する

10:40 東大・院薬・衛生化学

P 166 谷地 理恵子、仁木 隆裕、○田口 友彦、新井 洋由



3-20 PKC $\alpha$ を介した血小板活性化因子合成酵素 LPCAT2 のリン酸化

10:20 <sup>1</sup>国医セ・脂質シ、<sup>2</sup>東大・院医・リポド

P 206 ○森本 亮<sup>1,2</sup>、進藤 英雄<sup>1</sup>、垂井 愛<sup>1</sup>、清水 孝雄<sup>1,2</sup>

一般講演 3-21～3-23 10:35-11:20

座長 唐沢健(帝京大)、進藤英雄(国際医療センター)

3-21 High-throughput screening による PAF 生合成酵素(LPCAT2)阻害剤の同定

10:35 <sup>1</sup>国医セ・脂質シ、<sup>2</sup>東大・創薬イ、<sup>3</sup>東大・院医・呼吸器

P 209 ○垂井 愛<sup>1</sup>、進藤 英雄<sup>1</sup>、森本 亮<sup>1</sup>、原山 武士<sup>1</sup>、橋立 智美<sup>1</sup>、熊谷 和夫<sup>2</sup>、  
長野 哲雄<sup>2</sup>、長瀬 隆英<sup>3</sup>、清水 孝雄<sup>1</sup>

3-22 カテプシン G により惹起される乳がん細胞株 MCF-7 細胞凝集と  
細胞内型 PAF-アセチルヒドロラーゼの発現誘導

10:50 <sup>1</sup>帝京大・薬・分子薬剤学、<sup>2</sup>帝京大・薬・生体防御学

P 213 ○谷川 和也<sup>1</sup>、鎌田 理代<sup>2</sup>、油井 聡<sup>2</sup>、中村 康宏<sup>1</sup>、原田 史子<sup>1</sup>、唐澤 健<sup>1</sup>、  
井上 圭三<sup>1</sup>

3-23 細胞内 II 型 PAF アセチルハイドロラーゼのマスト細胞における機能

11:05 <sup>1</sup>東大院・薬・衛生化学、<sup>2</sup>東京都医学総合研究所、<sup>3</sup>CREST, JST

P 215 ○嶋中 雄太<sup>1,3</sup>、河野 望<sup>1,3</sup>、武富 芳隆<sup>2,3</sup>、村上 誠<sup>2,3</sup>、新井 洋由<sup>1,3</sup>

## 第 2 日午後 第 1 会場

一般講演 1-01～1-04 13:30-14:40

座長 西村 智(自治医大)、原 俊太郎(昭和大)

1-01 酵素蛍光法による細胞内総ホスファチジルグリセロール・カルジオリピンの定量

13:30 滋賀医大

P 126 ○森田 真也、寺田 智祐

1-02 オートタキシンは脂肪細胞分化を制御しメタボリック症候群に寄与する

13:45 <sup>1</sup>自治医大 分子病態研究部, <sup>2</sup>東大・循環器内科, <sup>3</sup>東大・システム疾患生命科学による  
先端医療技術開発拠点, <sup>4</sup>東大・コンピュータ画像診断学, <sup>5</sup>東大病院・検査部

P 129 ○西村 智<sup>1,2,3</sup>, 長崎 実佳<sup>2,4</sup>, 矢富 裕<sup>5</sup>, 永井 良三<sup>1</sup>

1-03 シェーグレン・ラルソン症候群原因遺伝子 *Aldh3a2* ノックアウトマウスを用いた  
神経症状発症の分子機構の解析

14:05 北大・院薬・生化学

P 130 ○佐々 貴之, 金武 司, 高木 秀侑, 永沼 達郎, 木原 章雄

1-04 プロスタグランジン最終合成酵素 mPGES-1 および PGIS の二重遺伝子欠損マウスの  
表現型解析

14:20 <sup>1</sup>昭和大・薬・衛生薬学、<sup>2</sup>阪大・院医

P 134 ○原 俊太郎<sup>1</sup>、佐々木 由香<sup>1</sup>、横山 知永子<sup>2</sup>

14:40-14:50 休憩

一般講演 1-05～1-07 14:50-15:40

座長 杉本 幸彦(熊本大)、奥野 利明(順天堂大)

1-05 プロスタグランジン EP4 受容体による視索前野ニューロンの細胞骨格制御

14:50 <sup>1</sup>熊本大・薬、<sup>2</sup>京都大・薬、<sup>3</sup>自治医科大・医

P 136 ○北條 寛典<sup>1</sup>、吉岡 美樹<sup>2</sup>、土屋 裕義<sup>3</sup>、土屋 創健<sup>1</sup>、川原 浩一<sup>1</sup>、三隅 将吾<sup>1</sup>、  
瀬木-西田 恵里<sup>2</sup>、杉本 幸彦<sup>1</sup>

1-06 マクロファージからの PGE<sub>2</sub> 開口分泌におけるプロスタグランジン輸送体(PGT)の役割  
15:05 金沢大学医薬保健研究域薬学系  
P 138 ○島田 紘明、中西 猛夫、中村 吉伸、玉井 郁巳

1-07 メタノール資化酵母による抗ロイコトリエン C4 単鎖抗体の発現と  
抗原結合に関与するアミノ酸の同定

15:25 <sup>1</sup>岡山県大・保福・栄養、<sup>2</sup>理研・宮野構造生物物理研、  
<sup>3</sup>青山学院大・理工・化学/生命科学、<sup>4</sup>京女大・家政・食物栄養

P 140 ○川上 祐生<sup>1</sup>、木下 麻衣<sup>1</sup>、大河内 修史<sup>1</sup>、岡本 憲典<sup>1</sup>、山本 登志子<sup>1</sup>、菅原 光明<sup>2</sup>、  
堀 哲哉<sup>2</sup>、齊野 廣道<sup>3</sup>、宮野 雅司<sup>2,3</sup>、山本 尚三<sup>4</sup>、高橋 吉孝<sup>1</sup>

一般講演 1-08～1-10 15:40-16:35

座長 巻出 久美子(東北大)、徳村 彰(安田女子大)

1-08 コンカナバリン A 誘発性肝炎におけるリゾホスファチジルセリンの役割

15:40 <sup>1</sup>東北大・院薬・分子細胞生化学、<sup>2</sup>さががけ・JST、<sup>3</sup>CREST・JST

P 143 ○巻出 久美子<sup>1,2</sup>、鈴木 健介<sup>1</sup>、奥平 倫世<sup>1</sup>、井上 飛鳥<sup>1,2</sup>、青木 淳賢<sup>1,3</sup>

1-09 歯周病の進行に及ぼす口腔内リゾホスファチジン酸の効果

16:00 <sup>1</sup>徳島大・院薬、<sup>2</sup>徳島大・院歯、<sup>3</sup>安田女子大・薬

P 146 ○橋村 慧<sup>1</sup>、松田 璃沙<sup>1</sup>、稲垣 裕司<sup>2</sup>、松井 寛和<sup>1</sup>、横田 美帆<sup>1</sup>、田中 保<sup>1</sup>、  
木戸 淳一<sup>2</sup>、永田 俊彦<sup>2</sup>、徳村 彰<sup>1,3</sup>

1-10 環状ホスファチジン酸、リゾホスファチジン酸による皮膚線維芽細胞への  
ヒアルロン酸合成促進作用

16:15 <sup>1</sup>お茶大・ヒューマンウェルフェアサイエンス研究教育寄附研究部門、  
<sup>2</sup>株式会社アルビオン

P 149 ○後藤 真里<sup>1</sup>、佐野 桂<sup>2</sup>、室伏 擴<sup>1</sup>、室伏 きみ子<sup>1</sup>

16:35 終了



## 第 2 日午後 第 2 会場

### 一般講演

2-24~2-28

13:30-14:50

座長 岩森 正男(近畿大)、糸乗 前(滋賀大)

2-24 系統プロファイルを用いた糖脂質における糖鎖進化解析

13:30 立命大・生命科学・情報生物学

P 174 ○小島 寿夫、友野 隆義、伊藤 将弘

2-25 カブトムシ *Trypoxylus dichotomus* 幼虫のスフィンゴリン糖脂質の構造解析

13:45 滋賀大・教育・化学

P 175 ○秋山 裕香、河村 秀志、中川 実佳、糸乗 前

2-26 ペルオキシソーム形成異常症におけるリン脂質・糖脂質分子種変化

14:05 <sup>1</sup>東大・院医・発達医科学、<sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター神経研究所・  
疾病研究第二部、<sup>3</sup>神奈川こども医療センター・神経内科、<sup>4</sup>産業技術総合研究所・  
バイオメディカル研究部門・分子複合医薬研究グループ、<sup>5</sup>国際医療福祉大・  
柳川療育センター、<sup>6</sup>The Kennedy Krieger Institute, Peroxisomal Diseases Lab、  
<sup>7</sup>近畿大・理工・生化学

P 179 宮崎 セリーヌ<sup>1</sup>、○齋藤 真木子<sup>1</sup>、伊藤 雅之<sup>2</sup>、山下 純正<sup>3</sup>、宮岸 真<sup>4</sup>、高嶋 幸男<sup>5</sup>、  
Ann B. Moser<sup>6</sup>、岩森 正男<sup>7</sup>、水口 雅<sup>1</sup>

2-27 乳酸菌の腸内共生と免疫の役割

14:20 <sup>1</sup>近大・理工・生命、<sup>2</sup>医薬基盤研・動物疾患モデル、<sup>3</sup>慶應大・医・産婦

P 183 ○岩森 正男<sup>1</sup>、足立 成基<sup>2</sup>、野村 大成<sup>2</sup>、田中 京子<sup>3</sup>、青木 大輔<sup>3</sup>

2-28 病原性真菌 *Cryptococcus neoformans* のエルゴステリル-β-グルコシド分解酵素  
(EGCrP2) の同定とその生物機能の解明

14:35 <sup>1</sup>九大院・生資環、<sup>2</sup>九大院・薬、<sup>3</sup>慶応大・先端生命、<sup>4</sup>理研・統合生命、  
<sup>5</sup>中部大・生命健康、<sup>6</sup>九大・バイオアーク

P 187 ○渡辺 昂<sup>1</sup>、伊藤 友治<sup>1</sup>、石橋 洋平<sup>1</sup>、合田 初美<sup>1</sup>、宮本 智文<sup>2</sup>、池田 和貴<sup>3,4</sup>、  
沖野 望<sup>1</sup>、田口 良<sup>5</sup>、伊東 信<sup>1,6</sup>

14:50-15:00

休憩

一般講演

2-29～2-32

15:00-16:15

座長 井ノ口 仁一(東北薬大)、岩渕 和久(順天堂大)

2-29 マクロファージは内臓脂肪細胞のスフィンゴ糖脂質発現を制御し、  
脂肪細胞の生理的分化成熟と肥満によるインスリン抵抗性を制御している

15:00 東北薬大・分子生体膜研・機能病態分子

P 190 ○井ノ口 仁一、永福 正和

2-30 脳特異的転写因子によるガラクトシルセラミド生合成の制御

15:20 <sup>1</sup>理研・疾患糖鎖、<sup>2</sup>理研・BSI・神経膜機能、<sup>3</sup>理研・BSI・分子精神科学

P 191 ○岡原 京平<sup>1</sup>、木塚 康彦<sup>1</sup>、北爪 しのぶ<sup>1</sup>、太田 芙美<sup>1</sup>、中嶋 和紀<sup>2</sup>、平林 義雄<sup>2</sup>、  
前川 素子<sup>3</sup>、吉川 武男<sup>3</sup>、谷口 直之<sup>1</sup>

2-31 マウス好中球におけるラクトシルセラミドの膜マイクロドメインについて

15:40 <sup>1</sup>順大・院医 環境医学研究所、<sup>2</sup>同院医療看護 感染制御看護、<sup>3</sup>同医療看護・生化学、  
<sup>4</sup>同院医学生体分子、<sup>5</sup>理研脂質生物

P 194 ○岩渕 和久<sup>1,2,3</sup>、中山 仁志<sup>1,3</sup>、松本 亮<sup>1</sup>、増田 浩美<sup>1</sup>、柳田 光昭<sup>1</sup>、加賀 直子<sup>4</sup>、  
小林 俊秀<sup>5</sup>、早川 智宏<sup>6</sup>、石井 久美子<sup>6</sup>、小川 秀興<sup>1</sup>、高森 建二<sup>1</sup>

2-32 非還元末端 N-アセチルグルコサミン糖鎖を特異的に認識するモノクローナル抗体の  
作製とその解析

16:00 <sup>1</sup>日大・理工・物質応化、<sup>2</sup>日大・歯学・細菌学、<sup>3</sup>鹿大・工学・化学生命

P 196 ○戸井田 竜憲<sup>1</sup>、藤庵 智貴<sup>1</sup>、鈴木 佑典<sup>1</sup>、落合 邦康<sup>2</sup>、杉村 和久<sup>3</sup>、橋口 周平<sup>3</sup>、  
濱添 勇太<sup>3</sup>、櫛 泰典<sup>1</sup>

16:15 終了

## 第2日午後 第3会場

### 一般講演

3-24～3-27 13:30-14:30

座長 厚味 巖一(帝京大)、上田 夏生(香川大)

3-24 エライジン酸の細胞内脂肪酸バランスとインスリン応答性への影響

13:30 帝京大・薬・病態生理学

P 217 ○石橋 賢一、根橋 佳奈、大藏 直樹、厚味 巖一

3-25 高度不飽和脂肪酸欠乏時に活性化する新規熱ストレス応答シグナル経路

13:45 <sup>1</sup>東大院・薬、<sup>2</sup>東女医大・医、<sup>3</sup>CREST, JST

P 219 ○山守 なつみ<sup>1</sup>、河野 望<sup>1</sup>、三谷 昌平<sup>2</sup>、新井 洋由<sup>1,3</sup>

3-26 ミトコンドリアへの新たな脂肪酸輸送機構の探索

14:00 京大・院工・合成・生物化学

P 222 ○大平 直義、石井 隆太、長尾 耕治郎、従二 直人、原 雄二、梅田 真郷

3-27 脂肪酸エタノールアミドを加水分解する酸性アミダーゼの内因性活性化因子の探索および蛍光基質を用いた阻害剤の評価

14:15 <sup>1</sup>香川大・医・生化学、<sup>2</sup>香川大・医病・薬剤部、<sup>3</sup>神戸薬大・生命有機化学

P 225 ○坪井 一人<sup>1</sup>、田井 達也<sup>1,2</sup>、宇山 徹<sup>1</sup>、芳地 一<sup>2</sup>、山野 由美子<sup>3</sup>、和田 昭盛<sup>3</sup>、  
上田 夏生<sup>1</sup>

14:30-14:40 休憩

### 一般講演

3-28～3-32 14:40-16:10

座長 板部 洋之(昭和大)、宮沢 陽夫(東北大)

3-28 赤痢アメーバのシスト形成を制御するコレステロール硫酸の解析

14:40 <sup>1</sup>佐賀大・医学部・免疫学、<sup>2</sup>九州大学大学院薬学研究院、<sup>3</sup>感染症研究所、  
<sup>4</sup>筑波大学大学院生命環境科学研究科

P 228 ○見市 文香<sup>1</sup>、宮本 智文<sup>2</sup>、Ghulam Jeelani<sup>3</sup>、原 博満<sup>1</sup>、野崎 智義<sup>3,4</sup>、吉田 裕樹<sup>1</sup>

3-29 コレステロール移動亢進が溶血の原因となる可能性の検討

15:00 東女医大・医・生化学

P 231 ○新敷 信人、高桑 雄一

3-30 ヒト血漿中の酸化 LDL の性状 ～質量分析計を用いた脂質プロファイルの検討～

15:15 昭和大・薬・生物化学

P 233 笹部 直子、○板部 洋之、井上 望、和田 暁、梅宮 大貴、佐々木 愛紗、相内 敏弘、  
加藤 里奈、小浜 孝士、山口 智広

3-31 過酸化リン脂質異性体の精密定量による生体脂質過酸化機構の解明

15:35 <sup>1</sup> 東北大・院・農・機能分子解析, <sup>2</sup> 日医大・内分泌代謝, <sup>3</sup> 心研・付属病院,

<sup>4</sup> 東北大未来科学技術共同研究センター

P 235 ○加藤 俊治<sup>1</sup>, 仲川 清隆<sup>1</sup>, 浅井 明<sup>2</sup>, 及川 真一<sup>2</sup>, 永島 和幸<sup>3</sup>, 宮澤 陽夫<sup>1,4</sup>

3-32 *ATGL/Plin5*-ダブルノックアウトマウスを用いた心臓における Plin5 の機能解析

15:55 <sup>1</sup> 兵庫県立大院・生命理学、<sup>2</sup> グラーツ大学

P 239 ○義則 奈々<sup>1</sup>、倉元 謙太<sup>1</sup>、Rudolf Zechner<sup>2</sup>、大隅 隆<sup>1</sup>

16:10 終了